

平成28年度豊岡市障害者自立支援協議会(運営会議)

	平成28年度 地域課題	部会で取り組んだこと	見えてきたこと	下半期の方針	豊岡市への提言
こども部会	障害のある児童の保護者は、将来的な不安や悩みを抱えている	○第1回【お話カフェ】の開催 ・目的：保護者(母親)同士の悩みを打ち明けあえる居場所をつくる ・日時：平成28年9月28日(水)10:00～12:00 ・場所：立野庁舎内 ・参加者：こどもの成長や発達に悩みのある豊岡市在住の保護者 25名（年齢不問） ・内容：3つのグループに分かれ就学前・就学後・卒業に向けた課題をテーマに情報を共有。 ・託児者：4名(サービス事業所の協力) ・アンケート実施 ※添付資料参照	・サービスや制度(手当、年金)に対する疑問。 ・サービスを利用したいが利用しにくい悩み。 ・就学後の集団生活への不安。 ・進学、進路に対する不安。 ・卒業後の生活への不安。 ○お話カフェを開催することで先輩保護者からのアドバイスを聞く機会が得られた。 ○今後も行政・自立支援協議会の協力のもとでお話カフェを開催してもらいたいという要望があった。	○第2回お話カフェ開催予定 (平成29年1月)	
	放課後や長期休業中の居場所は利用定員を超過しており利用に制限がある 希望する事業所に偏りがある	○こどもネット(児童発達支援管理責任者ネットワーク会議)開催にむけて調整 ・目的：福祉サービス利用児童の状況や課題を実際に把握するため (進捗状況) ・会議開催依頼文書及びチラシ発送済み。 事前アンケートの協力も要請している。 ※添付資料参照		○こどもネット(児童発達支援管理責任者ネットワーク会議)開催予定 (開催日程) ・日程：平成28年10月26日(水) 13時～15時 ・場所：立野庁舎1階D会議室 ・内容：各事業所の現状確認、不安や悩み事、疑問点、新たな取り組み等についての意見交換等	
	相談支援事業所で困ったケースを抱え込みやすい 相談員には、計画書の作り方もこれでよいのか不安もある	○第1回相談支援こども連絡会を開催 ・目的：障害児相談支援事業については年々新規依頼者が増加している状況下、相談員が日々の業務で様々な課題を抱えている。事業所の枠を超えて情報共有を図り、相談員のスキルアップ・豊岡市の障害児相談支援ネットワークの構築をめざす。 ・日時：平成28年8月17日(水)10:00～12:00 ・場所：立野庁舎 会議室A ・参集者：児童のケースを担当している相談支援専門員および相談員(以降、相談員と記載) 10名 協議内容 ①障害児相談支援事業所案内マップの改訂について提案 →改訂のポイント(顔写真・地図の追加等) ②出欠表に議題で取り上げて欲しい内容など意見を募った一覧表をもとに協議 参加者によるアンケート結果(一部抜粋) ・普段話せない相談員の人たちと話ができて良かった。 ・いろいろな考えや意見が聞けてよかった。 ・みなさん同じ思いや悩みを持っておられることもわかり少しほっと安心した。	・相談員のベースがまちまちである(国家資格の有無、相談支援初任研の受講など)ため、知識・スキル・経験に差がある。 ・進め方について、「これでいいのか?」と不安になりつつも常に業務に追われ十分な検証ができない、守秘義務があり相談員同士であっても話せないなどの焦燥感や孤独感がある。 ・1人の相談員が受け持つケース数に上限がなく、また家族支援も必要なケースが多いことからくる疲弊感がある。 以上これらが相談員のバーンアウトにつながる恐れがある。	○第2回相談支援こども連絡会 (11月開催予定) (ぜひ早い時期に第2回目の開催をお願いしたい。との強い要望が聞かれたため、当初年間計画では12月に開催予定であったが、1ヵ月早め11月に開催することとする。)	
	ネットワークの構築・障害児童支援と課題	○月に1回こども部会を行う中で、お話カフェ・こどもネット・相談支援こども連絡会の活動を通して見えてきた対象者・支援者からの意見や感じている事などを取り上げ情報共有 ○表出した課題について、こども部会メンバーで共通認識を図った。	・サービス利用希望のニーズが多いが、受けられる福祉サービスの定員がいっぱい。支援につながっていないケースもあるのではないかと。 ・福祉サービス提供者側でも困り感があるのではないかと。 ・円滑な支援導入と連携体制はどうか。 (関係機関の役割分担が)	○こども部会の取り組み(お話カフェ・こどもネット・相談支援こども連絡会)から見えてきた地域課題を明確化し、整理・分析を行うことで、豊岡市における児童支援体制が整えられるよう協議をしていく。	